

BIGPEC (子ども教室) 開催概要

目的：子どもにとって、学校ではできない体験を大学生と一緒に楽しみ、成長することができる。大学生にとって、集団の前に立つ経験、企画実行をする経験であり、子どもの成長を目の前で見て大きな感動を得ることができる。

1, はじめに・過去の様子(2019年)

BIGPECはTOSS信州大学の毎年恒例企画であったが、新型コロナウイルスの影響で2019年を最後に開催を見送って来た。経験した先輩方は全員卒業されたため、BIGPECの復活はほとんど1からのスタートとなるが、上記の目的を達成するため、ここに開催を計画する。

場所

信州大学教育学部(図書2F/体育館/N棟各教室)

当日の流れ

- 13:30~13:35 はじめの会
 - 13:35~14:25 第1ステージ
 - 【跳び箱教室・わくわくスポーツ・脳トレ】
 - 14:25~14:35 移動・休憩
 - 14:35~15:00 第2ステージ
 - 【工作教室(低/高*)・理科実験教室(低/高)】
 - 15:00~15:10 移動・休憩
 - 15:10~15:35 第3ステージ
 - 【百人一首教室(低/高)・英会話教室(低/高)】
 - 15:35~15:45 移動・休憩
 - 15:45~16:00 第4ステージ
 - 【学生による授業(5分)・現職講座(10分)】
 - 16:00~16:10 おわりの会
- *低：小学校1、2年生 高：小学校3~6年生
2教室に分ける



◀(上から)跳び箱、百人一首、現職講座

▼参加募集チラシ



2, 今年の計画

日時

2023年11月中の土曜日いずれか1日 13:30~16:10
※3年生の教育実習の関係で、一次審査記載の日程を変更した。

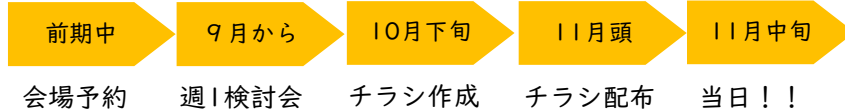
場所

信州大学教育学部(図書2F/体育館/N棟各教室を借りる)

当日の流れ

2019年と同様の予定。
※参加学生と話し合いをして講座内容は適宜変更する。
参加意思表明をしている学生(2023年6月現在)
2年生6人、3年生6人、4年生3人、院生1人 計16人(目標30人)

3, 当日までの主な流れ



5, 安全面の配慮

- 跳び箱による怪我等の危険性
→跳び箱やマット類は近隣の小学校からお借りする予定のため、学校の授業でも行われている安全対策を同じように実施する。また、当日は協力してくださる現職の先生にもついでいただき、安全面の指導をお願いしている。
- 工作、理科実験等における危険性
→理科実験では、危険薬品等はいわず、安全に楽しめる内容で行う。また、現職の先生のサポートのもとで行う。
- 新型コロナウイルスの危険性
→マスク等の着用はその時の社会状況により決定する。基本的な対応として、換気や消毒を重点的に行う。

6, 諸経費

- ①チラシ印刷費 (カラー/約8,000部) …約20,000円
 - ②チラシ送付のためのゆうパック(青)費用(約50部) …約20,000円
 - ③工作、理科実験等の材料費 (子ども全員+試作分=約110セット) …約40,000円
- 計80,000円
- ※過去に参加費をもらっていたが、足りない分はサークル費から捻出。今年は、Educational Challengeが通れば参加費無料にしたい。(さらに多くの子どもに参加してもらうため)

4, お世話になる現職の先生方

福嶋 莉佳 先生

- ・現職4年目(上田市小学校勤務)
- ・TOSS信州大学OG
- ・2019年BIGPEC企画代表を務める。
- ・毎週の検討会に参加していただき、助言や指導をいただく。

小松 裕明 先生

- ・長野市小学校勤務
- ・教員歴は長く、豊富な指導経験がある。
- ・当日の現職講座をお願いする。
- ・学生向けに、跳び箱指導についてレクチャーしていただく。